

2013年7月31日

京都府知事 山田啓二 様

京丹後市への米軍専用レーダー基地設置に反対する申し入れ

日本共産党参議院議員

倉林明子

日本共産党京都府委員会

委員長 渡辺和俊

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪義由紀

報道によれば、知事は昨日の記者会見で日米両政府が京丹後市に配備を検討している米軍のミサイル追尾の高性能レーダー「Xバンドレーダー」について、「京丹後市長と話をし、議会にさらに話をして最終的な決断をしていきたい」とし、さらに防衛省からの回答が「きちんとした回答になってきた」と述べたと伝えられている。

そもそも、今回のレーダー配備計画は、京都に全国で133番目、戦後初の米軍基地を設置するものであり、その目的は米国本土のミサイル防衛のためである。そのうえ、府民には全く知らされないまま、安倍首相と米大統領が府民の頭ごなしに一方的に決めたものであり、計画が明らかになり住民に説明が行われる中で多くの疑問や不安が広がり、府民の反対行動が高まっている。

府は防衛省に対して4回の説明を求めたが、回答はいずれも防衛上の機密が優先され、住民の不安をぬぐう具体的なものにはなっていない。7月28日に開かれた京丹後市袖志の説明会でも「決まったような府や市の対応はおかしい」という声が続々と出されている。知事がこのような声を無視し、配備を容認し強行に手を貸すことがあっては絶対にならない。

さらにこの配備計画は、京都府だけでなく、ミサイル防衛の名で日本を戦争に巻き込む危険のある軍事対決でなく外交による平和解決を目指そうとする世界の流れにも逆行するものである。

よって、京都府は日米両政府による京丹後市経ヶ岬への米軍基地設置、Xバンドレーダー配備に反対を表明することを強く求める。

以上